

事務事業評価票 [市単独補助金]

平成 26 年度

担当課	しまばら観光おもてなし課
-----	--------------

基本事項	補助金(事業)名	観光宿泊施設支援事業補助金				整理番号	1507	
	根拠法令等	島原市観光宿泊施設支援事業補助金交付要綱			実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第6章 地域の個性と魅力を磨いて交流を促進する	予算科目	7 款 1 項 3 目	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 新規		
	節 第3節 交流基盤の整備	区分	奨励・助成					
事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	温泉給湯事業を利用する宿泊施設が行う事業				実施期間	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 23 年度から	
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など						<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 年度まで	
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	観光の振興と地域の活性化を図るため、市内のホテル・旅館等が実施する各種事業について助成を行い、観光の振興と地域の活性化を図る。						
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	本市の観光の基幹となる温泉給湯事業を利用するホテル・旅館に対し支援を行い、もって観光の振興を図り、観光産業の存続及び雇用の場の確保を図る。						
事業費等の推移	年度区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 予算額		
	補助金交付額(千円)		9,891	8,574	12,554	15,398		
	① 団体等事業費(千円)		43,802	62,588	105,821			
	② 岁入内訳(千円)	会費等	33,911	54,014	93,267			
		前年度繰越金						
		市補助金	9,891	8,574	12,554			
		その他の助成金						
	その他雑収入							
	次年度繰越金 (②-①)	0	0	0	0			
25年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載)(単位:円)								
項目		金額	項目		金額			
広告宣伝費		25,892,622						
販売促進費		11,681,588						
地元材料仕入れ		58,573,870						
旅費交通費		5,821,256						
借上げ等に要する経費		3,851,860						
補助金の使途についての特記事項等								

◎1次評価(自己評価)

○視点別分析

視 点	現 状 分 析	説 明
① 助 成 事 業 の 効 果	<input type="radio"/> 意図した効果があがっている <input checked="" type="radio"/> ある程度効果がある。 <input type="radio"/> あまり効果がない <input type="radio"/> 分析できない <input type="radio"/> 事業効果は後年度	平成25年度の実績として、宿泊者数は前年比で増加している。
② 市 の 関 与 の 必 要 性	<input checked="" type="radio"/> 必要性は薄れていない <input type="radio"/> 少し薄れている <input type="radio"/> 薄れている <input type="radio"/> 不明 <input type="radio"/> 該当しない	観光の厳しい現状において、観光客の志向が高い宿泊施設の魅力アップや受入体制の強化を図ることは、観光客の誘客を図る上で重要。
③ 団 体 の 事 業 内 容 や 助成の在り方等の見直し 必要性	<input type="radio"/> 見直しの必要はない <input checked="" type="radio"/> 検討の余地はある <input type="radio"/> 見直しの必要あり	補助金交付対象団体が少ない状況であり、対象となる温泉給湯事業を利用する宿泊施設が増加するよう給湯事業の整備を行う必要がある。

○総合評価と今後の方向性

総 合 評 価	判 定	<input checked="" type="radio"/> A 継続(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 見直しのうえで実施 <input type="radio"/> B1 事業規模の拡大 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善 <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施など) → () <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定も含む) → ()
		休止・廃止の具体的方向性
	判 定 理 由	現状として、対象団体について上限額すべて交付している。
今後の課題と見直しの 方向性(総合評価判定が B1～B4の場合)	課 題	対象団体となる温泉給湯事業の利用宿泊施設の増加が課題。
	見 直 し 方 向 性 の	平成26年度から27年度にかけて整備する加温施設整備及び給湯施設整備事業により、維持管理費の增高、スケール付着及び供給温度の降低が解消されるため、その後の利用の増加対策を行っていく。

◎2次評価

判 定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備 考	観光の厳しい現状においては、観光客の誘客を図る上で重要な事業であるが、自立化の推進に向けて事業終期を定め、収入増加策や事業内容について検証されたい。

◎3次評価

判 定	
備 考	

評 価 結 果 を 踏 ま え た 次 年 度 予 算 へ の 反 映 状 況 (□)				
<input type="checkbox"/> 補助額の削減	<input checked="" type="checkbox"/> 補助額の増加	<input type="checkbox"/> 補助の休止若しくは廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	⇒ 予算措置額の増減 1,145 千円
備 考				

(観光宿泊施設支援事業補助金)